

会議名	第4回八名地域協議会		公開
日時	令和2年11月10日(火) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一畝田公民館 2階集会室
出席者	(委員) 松澤誠司、浅見敏行、杉山康生、渡邊公美、小林勝則、犬塚孝好、 松山立夫、松井真理、山本いづみ、井上こずえ、田中純子、 滝川多嘉子、細田圭介、建部彰生、白井千穂、勝木深雪		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長 自治振興事務所：松井所長、森下		
欠席者	(委員) 伊田雅美、前澤賢吉、柿野秀夫、 小林正子、山下誠裕、伊藤竜助	傍聴者	1名
配布資料	次第、八名地域自治区予算事業に関する建議書(案)、八名地域自治区地域活動交付金審査基準(案)、令和3年度八名地域自治区地域活動交付金事業募集要項(案)、審査の取決め事項(案)、地域活動交付金事業募集案内		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会

会長が挨拶を行い、本日の地域協議会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 議事

(1) 令和3年度八名地域自治区予算事業計画について

事務局より、10月16日(金)から11月4日(水)まで行った地域自治区予算事業計画案の意見募集において、地域住民からの意見が無かったことを報告した。

また、協議により、地域自治区予算事業計画案に基づいて作成した建議書案のとおり市長へ建議することを決定した。

(2) 地域活動交付金について

地域活動交付金分科会長より地域活動交付金分科会での検討結果を報告し、案のとおり決定した。

・審査基準について

審査方法について、やむを得ない事情により公開審査ができない場合には、書類審査ができるものとするを追加。また、採択を決定するときには協議の場を設けることができ、やむを得ない事情があるときには、協議を書面で行うことができる旨を追加する。

他の事項については変更なし。

・募集要項について

募集期間は、令和2年11月25日から令和3年1月14日までとする。

審査の時期は令和3年2月下旬とする。

他の項目については変更なし。

・審査の取り決め事項

説明時間は7分間、質疑応答は5分間とする。ただし、継続事業は成果の報告も兼ねて説明をすることとする。

<主な意見>

(委員) やむを得ない状況とは、どんな状況か。

(会長) 新型コロナウイルスの感染拡大などの影響により、審査会を開催できない状況を示しています。

(3) 地域協議会の委員構成、分科会構成について

来年度の八名地域協議会の委員構成、分科会構成について協議を行った。各委員から多くの意見が寄せられたが、意見がまとまらなかったため、協議は継続することとなった。

＜委員構成に関する主な意見＞

(委員) 地域推薦女性の人数枠は、どこで決めるのか。

(会長) 人数は地域協議会にて決めます。

(委員) 地域推薦女性は区長会が推薦する形としているが、区長会に推薦人数を任せるとは、推薦人数に対して協議会から区長会へ依頼するのか。

(会長) 協議会委員が推薦する方を探し、区長会に推薦していただく形としています。

(委員) 委員の選出が曖昧にならなければよい。

(委員) 八名こども会は令和3年度まで存続する予定である。令和4年度から先については、今後検討される。

今後、若い世代に参加してもらえる枠がつかれるとよい。

(委員) 地域推薦女性枠を設けてもらったことで、女性が意見の言える場ができた。また、30代、40代男性の意見も取り入れられるようにしてはどうか。

(委員) 地域推薦男性の枠を設けてはどうか。ただし、どう選出するかは課題。

(委員) 若い男性も協議会へ参加してもらえるといいが、忙しいのではないか。

(委員) 行政区推薦は男性を選出することが多く、現在の協議会での男女の比率はちょうどいいのではないか。

(委員) 若い男性については、PTAなどから選出してもらってはどうか。

(委員) 男性にこだわらず、選出してもらえばいいのではないか。

(委員) 他の地域では女性でも行政区長を担っている地区もあり、男女にこだわらなくてもいいのではないか。

(委員) 女性と男性では、物事の見る角度が違っていると感じる。八名地域には控え目な方が多いと思う。男性の枠もあるといいが、選出するための条件などは浮かばない。

(委員) 八名地域を良くしたいという想いのある方に参加してもらえれば、地域計画の推進にもつながるのではないか。地域推薦女性枠を男女関係なく、地域推薦枠としてはどうか。

(委員) 地域協議会は地域を良くしようと考えている方に参加してもらいたい。詳細な条件はなくとも、地域を良くしていこうと考えてくれる方でいいのではないか。

(委員) 八名地域を良くしようと考えてくれている方に参加してほしい。

(委員) 地域協議会に関わることで、八名地域にこういう成果が上がっているということを知ってほしい。

(委員) 各地区では男性が主体で動いており、あえて男性の枠を設けることは必要ないのではないか。自主的な活動をしている団体の代表者が協議会に参加してもらえるとよい。男性枠を設けるとして、どのように選出するかを考えることが難しい。

(委員) 男性枠として選出するとしても、どう選ぶかが難しい。

(委員) 30代、40代など同じ年代の人がもう少しいると良かった。

(委員) 男女問わず、若い世代に参加してもらえると良い。

(委員) 委員同士のグループディスカッションが行える機会を設けてもらえると良い。それは無償でもいいので、話し合える場を設けてほしい。

(会 長) 八名こども会からの選出がなくなっても、各地区ごとのこども会から委員を選出してもらえると良い。

各委員からの意見が出たところで、地域推薦女性枠をそのまま継続するか、男女問わない形の地域推薦枠とするか多数決したところ、地域推薦女性枠として継続する案への挙手が多数となった。

<分科会構成に関する主な意見>

(委 員) 地域協議会の全体で、協議会で取り組む内容に対する共通認識を持てる場を設け、それから各分科会での検討を進めていくのがいいのではないかな。

(委 員) 第7回地域自治区予算分科会で出た意見をまとめ、次年度に引き継いでもらいたい。

(委 員) 地域計画分科会と地域自治区予算分科会は関わりが深いことから、一緒にできると良いが、地域計画分科会は地域計画分科会として進めていきたいことがあり、一緒にすることもなかなか難しいと思う。

(委 員) 地域活動交付金分科会にて審査会、成果報告会を実施しており、今年度は難しいかもしれないが、地域活動団体の状況を知ってもらえるよう、その場へ協議会委員全員が参加できると良い。

(委 員) 区長会との連携を踏まえ、地域自治区予算分科会と地域計画分科会へ区長に参加してもらおうのはどうか。

(所 長) 八名地域協議会では、全行政区長を選出してもらっているわけではなく、協議会での活動状況をどうやって八名区長会へ伝えるか。(例えば、八名区長会へオプザーバーとして参加するなど)

また、区長会代表枠の委員のみならず、協議会に参加する区長にも協力していただき、八名区長会での報告などができると良いのではないかな。

(委 員) 区長が選出されていても、地域活動交付金分科会に入ると、地域自治区予算分科会との関わりが薄く、情報などが伝わらないのは問題があるのではないかな。

分科会を構成する委員の振り分けについては、各委員の希望ではなく、各選出の枠に応じて事前に分科会の振り分けとすることも必要ではないかな。

(委 員) 地域協議会が始まった当初の頃には、分科会形式ではなく、協議会全体で交付金審査などを行っていたが、審査員が多いと申請団体が発表しづらいとの意見から分科会形式とした経緯があると聞いたことがある。

協議会全体で地域自治区予算や地域活動交付金について理解を深めたいのであれば、分科会形式をやめ、協議会全体で考えるのも方法のひとつかな。

地域自治区予算分科会、地域活動交付金分科会それぞれの委員が、お互いの分科会の内容を知ることができればよいかな。

(委 員) 各分科会の検討内容などについては、会議録を確認すればいいのではないかな。また、区長会との連絡事項などあれば、事務局を通じて対応してもらおうのはどうか。

(委 員) 会議録は作成までにタイムラグがあること、また、会議場でのニュアンスが正しく伝わらない。協議会全体を活性化することを考えると、分科会形式では作業もバラバラになってしまうのではないかな。協議会としての運営能力を上げる考え方のひとつとして、会長、副会長プラスアルファの委員で構成する幹事会を設けてみてはどうか。そこで協議会の進め方の案を十分練った上で協議会を進めていくのはどうか。

(会 長) 分科会で分かれると、自分の参加する分科会でやることに必死となり、そこだけで終わっていつてしまっているように思う。協議会にて検討内容について報告されるが、その検討の過程や問題点などは共有できていないのは問題ではないかなと思う。

委員構成や分科会構成も含め、地域協議会の運営体制について改めて協議することとし、今回では決定とせず、各委員改めて考えてきてもらうこととなった。

3 説明

(1) 令和2年度地域活動交付金の活動状況について

事務局から、今年度実施している地域活動交付金事業の活動状況を報告した。

4 その他

5 閉会